

かわさきTMO通信

<毎月おじゃまします・かわさきTMOタウンマネージャーです>

2012・1月号 No.38

- 2012年頭会長挨拶
- ますます変化する街
- 事務局たより

発行元：川崎商工会議所
 発行責任者：副会頭 深堀和子
 編集責任者：タウンマネージャー 笹原克
 発行日：2012年1月25日
 発行部数：1,000部
 ◆連絡先
 TEL：044-540-3904
 FAX：044-540-3900
 Email：sasahara@kawasaki-cci.or.jp
 「まちづくり情報交換誌」を目指して
 います。タウンマネージャーにお気軽に
 情報をお寄せください。
 ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

◇年頭挨拶

猪熊俊夫会長

あけましておめでとございます。昨年の東日本大震災は、歴史的な巨大な震災となりました。いろいろな方々が同じように話されていることを聞きます。「文明的転換に今我々は立たされている」と。まさに、その歴史的転換の真ただ中で、震災を受けてしまいました。

五十年、百年たてば、あの時は、こうだったねと言えるのかもかもしれません。変化のうねりの中で生きている我々が、客観的に見ていくことは至難の業です。しかし、大きな転換点に立っていることは、肌で感じることできます。特に我々は経済的な変化に敏感になります。経済の大きな変化は日本だけの特殊な環境ではなく、米国、欧州を見ても世界的な新しい経済社会に突入しています。その一つの傾向は、消費者がより賢くなる社会で、商品やサービスをさらに吟味して買う時代だと思えます。

この新しい大きな変化のある環境に対応した川崎駅前の商業地域をつくっていくかねばなりません。今年も皆様の力を結集して、よい一年となることを願っております。

◇ますます変化する街

川崎市は、全国でも稀に人口が増加している地域となっています。市域全体で百四十万人となりました。川崎駅周辺でも大型マンションが新築されている姿を見かけます。このような状況は全国的に人口減少が起きている中でもまれなこと、なんと恵まれているのでしょうか。川崎駅周辺地域をみれば、来街者数も増えています。川崎駅のココースの人のにぎわいは、新宿や渋谷の人通りとそんな色ありません。最近耳にした話ですが、川崎駅周辺施設の商圏の広域化を示すように、港区の住民（比較的高齢者家族）が、週末の買い物に川崎まで来るといふ話を聞きました。その商圏広域化の中心的施設がラゾーナであり、全国第二位の売上を上げている商業施設となっており、その効果は当然近隣に及んでいることは明らかであり、この拡大する集客をどのように広い地域つまり面として受止めるかが、大きな課題となっています。

さらに川崎駅周辺地区では、西口で東芝のビルが建設中で従業員七千人が新たに生まれます。また、川崎幸病院が本年六月に完成します。東口では

商工会議所ビルが完成し、京急との間の道路が歩行者空間となります。昨年の川崎駅東口駅前広場整備による東口の環境整備が進んでいます。また、川崎駅北口改札口整備の概要も公表されました。さらに、富士見公園の整備も明らかとなっており、大きな環境整備が行われます。さらに、駅周辺では民間の再開発事業も企画・計画されており、街の更新が官民で行われることとなります。

福島伸一著の「動的平衡」が売れています。生物が生きていくということは、常に分子レベルでの交換が行われており、一時として同じものであることがなく、動的に変化することで平衡を保っているということを書き著わしています。また、生物の種が生き延びるのは、強く逞しく大きくあるより、いつも環境に対応した変化を取り入れていく生物が生き残ってききました。これは、都市も街と同じです。社会は生き延びるために変化します。そして、街もその変化を取り入れて変化しなければ、あつという間に生存から取り残されていきます。川崎も大きな変化を受けとめた街をつくる必要となっています。

(笹原克)

◇回遊性をつくる事業展開

この大きな変化に対応する方策の一つは「駅東西の回遊性の創造」です。TMOの主要な事業戦略となっておりません。それは、「回遊性ワンコインバス」の実現、「バスカー」によるストリートミュージック」の展開、「オープンカフェ」の事業化、「街なか電気自動車」の検討、「川崎駅南口改札開設」の政策提言、「大型バスの駅周辺駐車場開設」の政策提言などがあります。これらの事業は、回遊性部会と政策提言部会で検討されております。

特に、西口と東口の回遊性をどのように創っていくかが、川崎駅周辺地区の最大の課題と位置付けております。それらを、回遊バス、街なか電気自動車の企画、南口改札口の創設などにより実現していくことをめざします。

川崎駅南口乗換階段通路付近写真掲載予定です。

◇楽しく、安全な街をつくる

駅周辺地区を誰でもが安心して買い物し楽しめる商業空間、街づくりが必要となっております。そのためには、まず商業者自身が自分たちの街を誰でもが楽しく快適な時間を過ごせる街にしていくなが必要となります。これは、他人や行政や警察がやってくれることではなく、街の主体である商業者自身が行わない限り実現できるものではありません。

その街の主体者たる商業者が自ら誰でもが安心して楽しい快適な街とすることを宣言したのが、「商店街協定」です。商店街協定は、次の項目でできております。

- 一条 目的
 - 二条 対象の範囲
 - 三条 看板
 - 四条 商品展示
 - 五条 自転車
 - 六条 客引き行為
 - 七条 荷捌き
 - 八条 国際都市に向けて
 - 九条 協定の実行
- これら協定を順守することを表明した店こそが街の主体者となります。

(笹原克)

◇大型店と商店街の連携

かわさきTMOの重要な役割として「連携」を作ることがあげられます。一つは、川崎駅周辺の十二の商店街、二つの商店街連合会が同じテーブルで様々な活動を展開していることです。第二は、商店街と大型店との連携です。地域共同販促部会では、商店街と大型店が共同でPR活動できる仕掛けを行っております。第三は、イベントの連携です。フェスティバルな川崎では秋のイベント集中月間に共同PRを行います。またイベントサミットにおいて様々なイベントの横の連携を作っております。イベントの効果をより高めるために各イベント評価の方法を検討しております。

変化し動いていくためには、個々の力だけではなく、力を結集していくことが大きな力を生むこととなります。その意味で、連携を生むことは、変化する社会に対応するための重要な手段となります。力がバラバラでは何の力も生まれません。現在TMOを中心にすすめられている「三つの連携」は、その意味で活動の基礎となるもので、今年さらにはこの連携を強化してまいります。

(笹原克)

◇事務局たより

かわさきTMOの事務局が川崎市産業振興財団から川崎商工会議所に移管されてから約十カ月がたちました。会員の皆様にも名前と顔を覚えていただけるようになりました。

二〇一二年の今年も、七月に川崎商工会議所の建物が駅前完成します。現在はソリッドスクエアビルに仮住まいしておりますが、夏にはTMOの事務所も駅前の新ビルに移転することとなります。JR川崎駅と京急川崎駅の中間に位置し、皆様には立ち寄りやすい場所となりますので、お気軽にお越しください。今年もTMOの活動を積極的に進める下支えを行ってまいります。本年もよろしくお願いたします。(神谷修)

